

交通戦略課

●鉄道ネットワークの整備

1 駅のバリアフリー化や鉄道の施設整備の促進

ユニバーサルデザインの理念に基づき、誰もが安心して安全に移動できる交通環境づくりを進めるため、駅のバリアフリー化に向けた取組を推進しています。また、近江鉄道や信楽高原鐵道の施設整備等への支援をしています。



駅のバリアフリー化



内方線付き点状ブロックの整備

2 鉄道の利用促進

地域を支える鉄道の利便性向上を図るため、関係市町等と連携して、地元住民の鉄道利用促進や観光誘客等の取組を進めています。



草津線沿線限定御SHINOBI印巡りの旅2022



JR湖西線サイクルトレイン

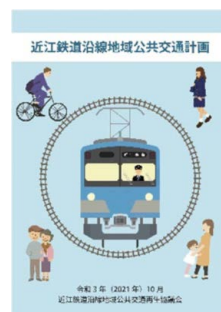
3 近江鉄道線の活性化再生の取組

県と近江鉄道沿線5市5町は、鉄道事業者と関係団体等の参加を得て、令和元年11月5日に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく協議会（近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会）を設置し、近江鉄道線のあり方をはじめとする県東部地域の公共交通網の再構築を目指し、協議を行っています。

同協議会において、令和2年3月に近江鉄道線を全線存続すること、令和2年12月には令和6年度から「公有民営」方式（上下分離）に移行することが決定しました。また、令和3年10月には近江鉄道沿線地域公共交通計画を策定しました。令和4年度は計画に基づき上下分離に向けた準備や運営改善・利用促進の取組を行っていきます。



近江鉄道



近江鉄道沿線地域公共交通計画

●地域公共交通の維持確保、利便性向上

4 地方バス路線等の運行支援

地域住民の日常生活に欠かせない移動手段である地方バス路線をはじめ、コミュニティバスやデマンドタクシー等を維持するため、運行経費の補助を行っています。

5 地域特性に応じた交通ネットワークの形成

地域の移動利便性の向上を図るため、福祉輸送、事業者送迎サービス等、地域の輸送資源を活用した実証運行を実施し、地域特性に応じた交通ネットワークの形成に向けた取組を進めています。

6 地域公共交通ネットワークの運行情報見える化（オープンデータ化）

県内を走行しているバスの運行情報（停留所、時刻表、運賃等）をGTFS（標準的なバス情報フォーマット）で作成し、検索事業者に提供することで、ウェブでの経路検索を可能とし、バスの利便性向上と利用促進を図ります。

●エコ交通の推進

7 「エコ交通」の利用促進

鉄道やバスなどの公共交通と自転車や徒歩などを組み合わせた、人と環境に優しく魅力と利便性の高い「エコ交通」の利用を促進するため、県庁自らが率先して行っていくとともに、「エコ通勤優良事業所」の認証登録に向けた呼びかけや、小学生を対象とした交通環境学習などの取組を進めています。

○エコ通勤優良事業所認証取得の推進

「エコ交通」の利用促進の取組を全県的に広げるため、エコ通勤に関して高い意識を持ち、エコ通勤に関する取組を積極的に推進している事業所を認定する「エコ通勤優良事業所」の認証取得を推進し、県内事業者に向けて情報の共有・発信を行っています。



○小学生を対象とした交通環境学習

県内小学校（1～6年生）を対象に、バスの実車等を用いた出前講座を実施しています。子どもたちが公共交通の大切さやバスの乗り方などについて学び、慣れ親しみ、公共交通の役割を理解することにより、将来にわたって公共交通を利用するきっかけをつくることで、将来の地域公共交通の維持・確保につなげます。

◆実施校数

令和3年度は17市町66校で実施しました。

◆授業風景

